

学校外の生活がどのようになされているか

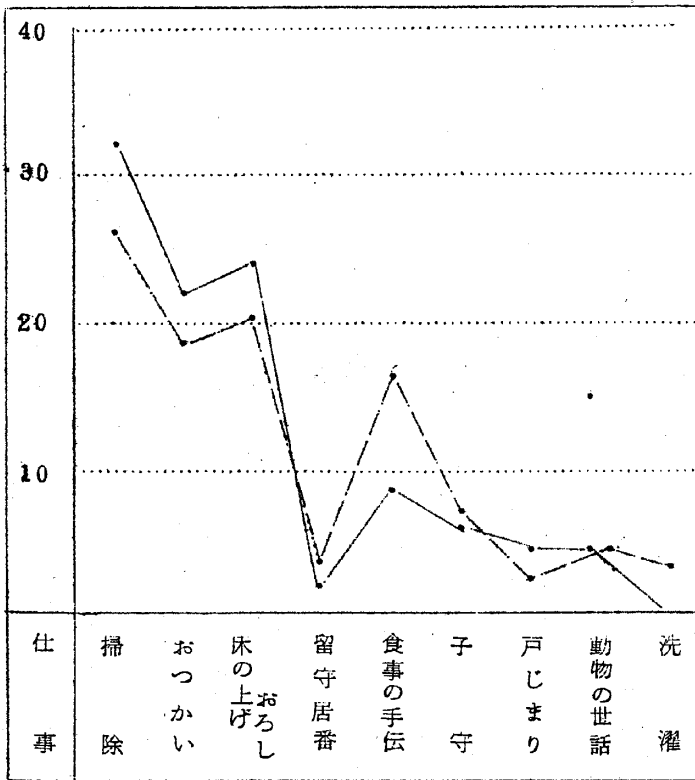
「食事」「手伝い」「遊び」「家庭学習」「睡眠」について
日課表からまとめて見る

柳原小学校 酒井 玲子

1. 生活の習慣、計画の必要性

生活を習慣づけさせようと言う面から1年の当初より2年までは別紙のような形で「よい子の1日」を渡し×○式で記入させた(1年の時は主として親に、2年は自己反省という面から自分でつける)

学校生活は一応規則正しい団体生活であるが家庭へ帰ると、どうしても無計画な無駄の多い生活をしている所から日課表も3年になつてから算数と関連して1日の生活を色分けの時間帯にしてつけさせ学校外の生活がどのように自分のクラスではなされているか調べてみた。



2. 調査したのを内容別に見る

A 仕事(手伝い)

この表によつて見ますと殆んどの児童が掃除とおつかいと床のあげおろしをしているようです。これは入学当初、PTAとよく連絡をとり必ず家庭において家族の一員と云う点で簡単な仕事でもよから一つきめてやらせるよう話合いました。小さい時から習慣になつていると

ちつとも臆動がらずにやつているとの親からの声です。

なかには、その仕事をやらないと気がすまないと言つて床のあげおろしをしている子供に御飯も食べないと云う児童もいるようです。

学校外の生活がどのようになされているか

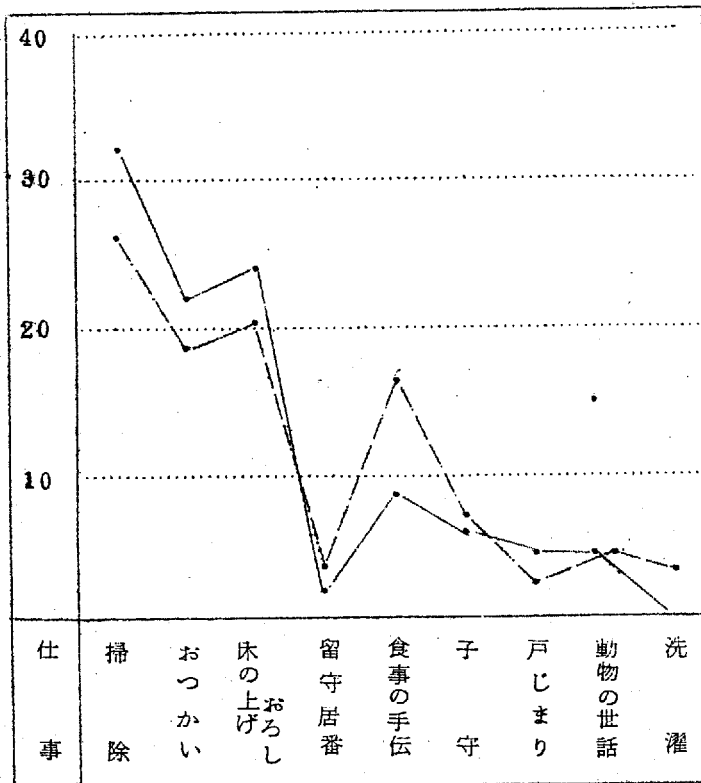
「食事」「手伝い」「遊び」「家庭学習」「睡眠」について
日課表からまとめて見る

柳原小学校 酒井 玲子

1. 生活の習慣、計画の必要性

生活を習慣づけさせようと言う面から1年の当初より2年までは別紙のような形で「よい子の1日」を渡し×〇式で記入させた(1年の時は主として親に、2年は自己反省という面から自分でつける)

学校生活は一応規則正しい団体生活であるが家庭へ帰ると、どうしても無計画な無駄の多い生活をしている所から日課表も3年になつてから算数と関連して1日の生活を色分けの時間帯にしてつけさせ学校外の生活がどのように自分のクラスではなされているか調べてみた。



2. 調査したのを内容別に見る

A 仕事(手伝い)

この表によつて見ますと殆んどどの児童が掃除とおつかいと床のあげおろしをしているようです。これは入学当初、PTAとよく連絡をとり必ず家庭において家族の一員と云う点で簡単な仕事でもよいかから一つきめてやらせるよう話し合いました。小さい時から習慣になつていると

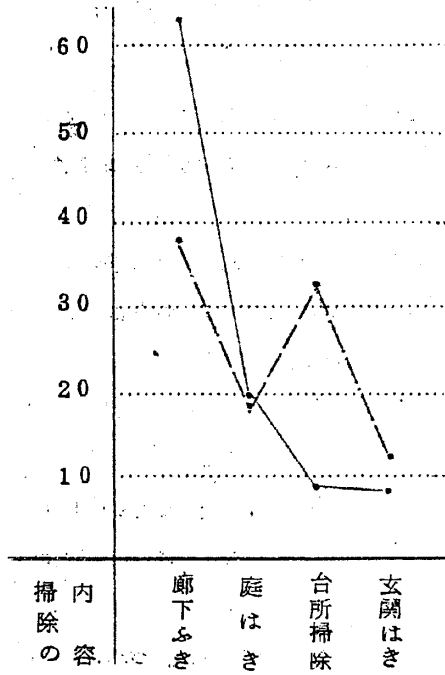
ちつとも臆れがらずにやつているとの親からの声です。

なかには、その仕事をやらないと気がすまないと云つて床のあげおろしをしている子供に御飯も食べないと云う児童もいるようです。

又、この時代には比較的手伝いをするとうことを嫌がる子供は少いようです。私の組にいる精薄児のS児なども喜んで作業などしてくれるので助かることもあります。

学校に於ても始めて自分の教室を掃除出来るのだと喜んでやっている。

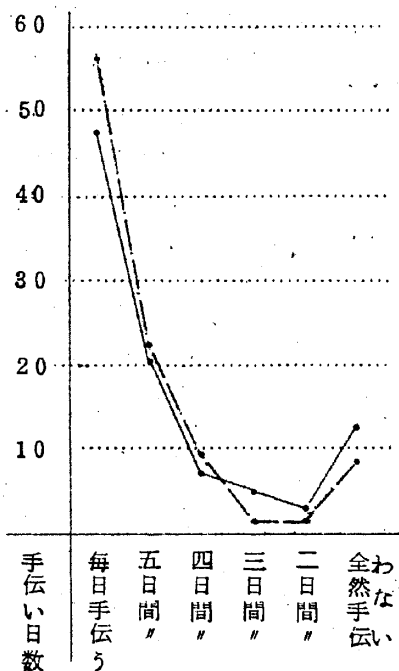
綺麗な教室で勉強しようとう気持ちが強いようです。



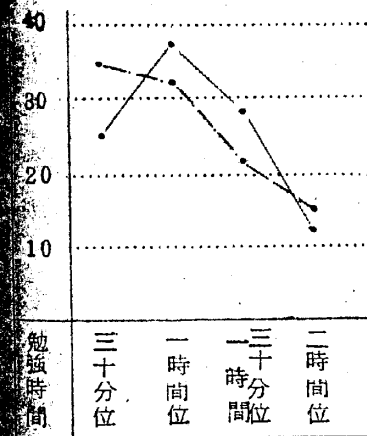
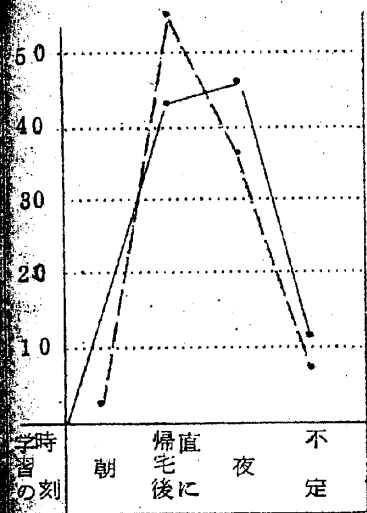
家庭に帰つての掃除内容を分析してみると「廊下のはきふき」が一番多く「庭はき」「台所掃除」「玄関はき」の順になつているが女子は台所掃除が比較的多いようです。食事の手伝い等も多いところはやはり小さい時から料理に関心を持つてゐることゝ思い母親もつつまいよいと云つてゐる。又児童に聞いても、自分で作った料理(下手なもの)とか手伝つて作った料理になると、とてもおいしいと云つてゐるところから喜んで手伝つてゐると云うことがうなづける。

おつかいは男子は自転車で行ける児童が多かつた。

このような仕事は人間形成の基礎工事として就学前から指導するとよい事であるが入学直後でもよいから基本的な習慣を身につけ規則正しい生活を養つて行く事が必要だと思ひ一週間中どの位手伝えたか調べて見た。又仕事を喜んでやつてゐる子供についても調査して見たが、一人つ子とか、家庭的に恵まれてゐる子供は(女中、使用人、兄弟が多い)家でも、しいてやらせようとは思わなしいし又本人もやる気がない。そのような子供を学校の作業、掃除の際観察していると、フラフラしてゐたり、人をあごで使うようなことをしているので実情をよく家庭訪問をして話合ひ社会性を養ひ意味からも仕事を与えるようにしてもらつた。



B 学 習 (家庭学習)



土	金	木	水	火	月	日	お家での勉強	名前
							読み	学んだこと
							書く	おかげ
							さん	さん
							自分	成績
							家族	しらべ
							先生	

家庭学習においては仕事と同様帰宅後すぐに本を出すよう習慣つけてほしいと話し8年に入って父兄会の際80分〜1時間位の子習復習を勧めてくれるよう話した。それで先ず3年に入ってすぐ実態を調査してみたところ表のような結果になった。女子の方が帰宅後直にやるようである。几帳面な性格からであろう。母親に聞くと男子の中にも2、3人は「ぼくは勉強をしないと遊んでいてもちつとも面白くない。誰それはよく平気で遊んでいられるネ」など家族の者に話すようである。

又柳原は足利の中心校な為、親達の競争心から教育熱がさかんであり勉強するとき母親や兄姉がついて指導する家庭が3/5一週間のうち3、4日つくが、全然つかないが、殆どである。

このように見てももらえない家庭の子供が2割いるが、これ等は貧困家庭で父兄共に働きに出ている。或は家の仕事忙しい(はた、農家)ので放任がちになる傾向にありますので成績においてもよくない。そこで時にはグループ別に残したり、町内別に残したりした際特にその子供の学習を見てやるようにしている。

新しい教育では自主的学習、自発学習を重視している。学習指導の真のねらいが自学自修の態度と能力を育てることにあるとすれば子供の向学の態度も習慣づけ自主的であつて而も能率的な勉強のやり方を奨める事は学校に於ては勿論のこと家庭にても同様に努力されねばならぬ事と思います。

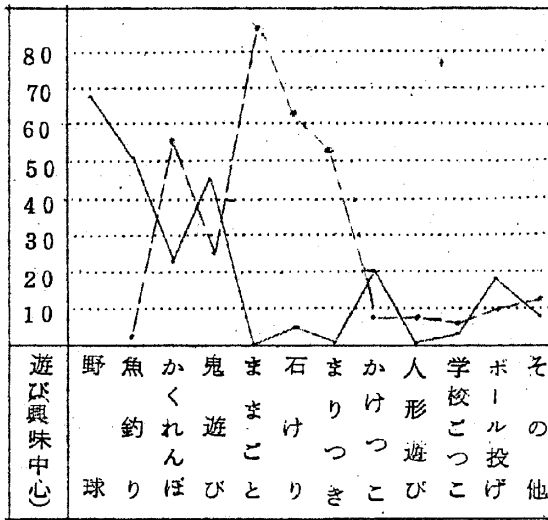
そこで家庭に帰りどの程度学習されているか時間を調べて見ました。

そうしてこの問題を解決する上で最も重大な役割を果すものが家庭作業として子供に課せられる学習課題になると思います。

やはりこれ等の意味からも仕事と同様に一年に入学した際家庭とよく連絡をとり学校から帰つたらすぐ本を出す習慣を養

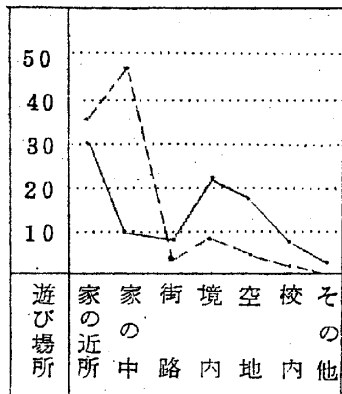
う事が大切だと痛感しました。そこで不実行を叱責することよりも努めて賞賛することを心掛
け児童のもつ自尊心を競争意識を巧みに教育的に活用することにあると思ひ習慣化されるまで
と思ひ前に書いたような形式で家庭に配布してより自発的に学習するようになりました。

C 遊 び



遊びは全教科の領域であり生活指導の一分
野であります。全教科の領域の中に於て遊
びの目的、方法、相手等、社会性及周囲で
及ぼす影響等について指導なされなければ
いけないと思ひます。

又、三年生はまだ空想的であり冒険を好み
善悪の判断が出来ていないように思われま
すが遊びは子供達の大部分の時間とエネル
ギーを消費しているものであり健全な遊び
の中に子供達は社会性、道徳性が健やかに
はぐまれていく正しい行動を自ら進んで

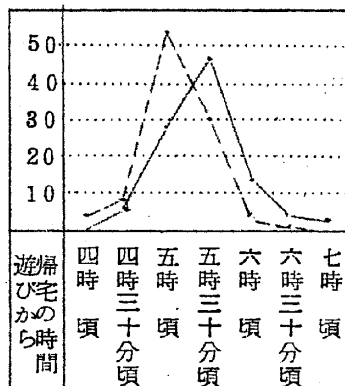
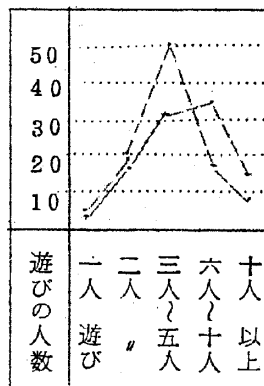


なしうるような判断力と行動の習慣をつくることにあると思
われましたので、遊びの場所、人数、種類、遊びからの帰宅
の時間を調べてみました。

夏の調査によると遊びの種類は

男子は、野球が1番多く、魚釣り、鬼遊び、かくれんぼ、か
かげつこに集中し家の中で遊ぶより外へ出て近所の男の子同志
集つての集団遊戯の傾向にあります。

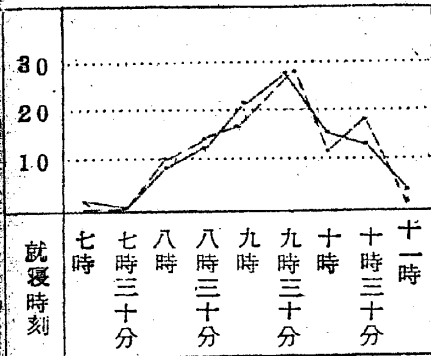
女子の方は、ままごと、人形遊びがもつとも多く、かくれん
ぼ、縄とび、石けり、まりつきに集中されている。



遊びから帰りの時間は3年に
なれば清掃がありますので学
校からの帰りが、どうしても
3時頃になるので勉強してか
ら遊びとなると、どうしても
5時~5時30分位までにな
つてしまいます。4時~4時
30分頃の子供の話を聞くと
遊んでから勉強すると云う子

供が大部分です。

D 睡眠時間（起床、就寝）



夏などは日が長いめどうしても睡眠不足となり学校へ来ていねむりまではいかなくともアクビをする子供が多いようです。それで平均どの位の時間をとっているのか調査してみました。

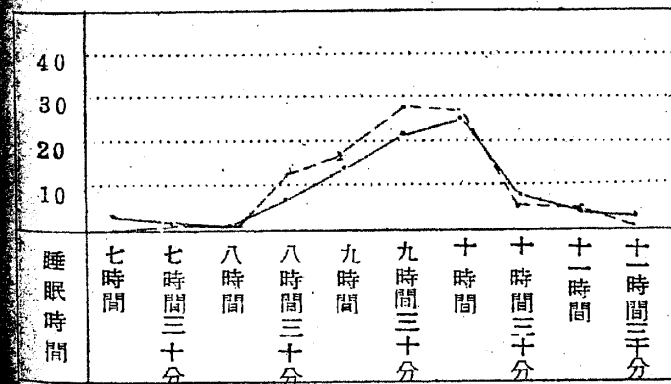
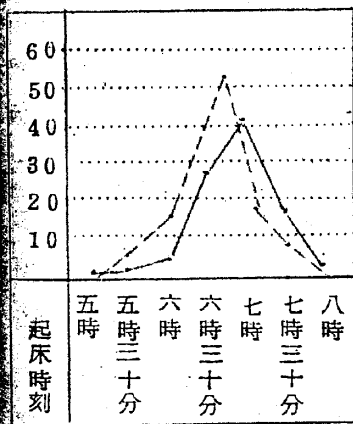
この表によりますと寝る時刻が非常にまちまちです。家庭へは子供の疲労という事を考え8時30分まで位には必ず床につかせるよう連絡はとつていますが旅館、商店、歓楽街などの多いためか、こんな結果となつて

表われたものと思います。又、なかには床の中に入ってマンガとか雑誌など読んでいる子供、まわりがうるさくて寝られない子供なども多いようでした。

こんな点からも睡眠時間が不足がちとなり、此の年令で必要な10時間～11時間必要とする睡眠時間に対し9時30分が本校では最高となり毎日、30分から1時間位の睡眠不足と云えます。

こんな事を念頭において各児童の環境を考え能力、性格などに即応した日課表をもたせ個別指導をしたり家庭の協力を仰

いたりしております。

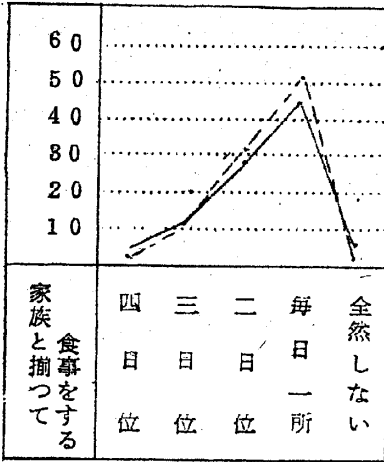


E 食 事

昼食は学校ですませる関係、規則正しくいただくのですが家庭に於ての食事は割合不摂生です。

特に商人の家庭では夜は遅くまで仕事をしているので朝、遅くまで寝ているのでよくむれない

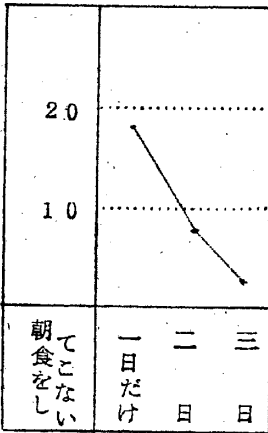
御飯を急いで食べてくる児童が多いようです。



又家族揃って顔を合せながら食べるような事もなく子供達が学校へ行つてから、ゆつくり食事をするような家庭もいくつかあります。

夕食も同様、父と勤めの関係とか商売の為などで親よりも先に食事をすまして寝る家庭も多いようです。

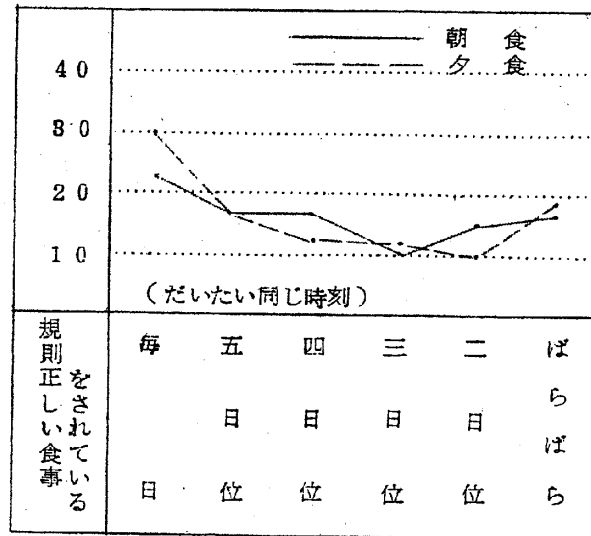
中には色々な関係で時偶、朝食を食べずに学校へ来る児童もおりますので家庭に注意しそんな時はパンでも買って学校へ持ってきて来て食べるなり、家で食べてくるよう本人にもよく話して聞かせました。次に1週間を通じて食事が同じ時刻に規則正しく行われているかどうかまとめて見ました。



先にものべましたごとく何しろ商人の家庭が多いのでなかには同じ時刻に食事をすませることはとても困難のようですが、子供の健康と云う面から考え、なるべく規則正しい食事の時間とれるよう話合いました。

一家顔を合せて食事することも、極力やつていただくよう父兄参観日の時など話合いました。子供達に聞いて見ると1日のうちで一番楽しい時間は食事の時間であるとのこと、

理由は、皆で顔を合せ、それぞれ学校の出来ごと、父とお話出来るから、皆と色々な相談出来る(特に日曜の朝食とか土曜日の夕食の時)と云っております。



結 論 と し て

心身共に成長する時期にある子供達に、このような不摂生な生活が長く続けられることは発育が停止し学習、健康面でもマイナスになる点が多いように思われます。

本校の3年生児童の実例を1つあげて見ますと8年生の体重、全国平均に比較し本校の3年生の体重は、はるかに下廻っております。多分こんなところにも、いくらかなりとも原因しているのではないかと思います。

但し色々と調査をし、それをもとに家庭と連絡をとり時間的に、きちんとした秩序ある生活をさせるため努力しております。

児童が立案した生活時間割を更に父母にも見当させた上に児童の自発的な内からの力によつて自分の生活を規制して自分の生活を自分で自制し得る生活能力を養うことが大切だと思いました。これは単に自分のクラスの子供をとり上げたまでに過ぎませんので全部がこのような傾向にあるのだとは思いません。

ほんの参考までに書いた程度です。

月号		よ い こ の 一													
やること		日	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
おこされない															
かおをあらう															
はみがき															
あさのそうじ															
あ	おはようございます														
	いただきます														
い	ごちそうさま														
	いつてまいます														
つ	た だ い ま														
	おやすみなさい														
よ い へ ん じ															
からだのぐあい															
む だ ず か い															
備 考	<p>入学の感げきを、よりよいものにいたしたいと考えてみました。なんといつてもはじめが合理的のない程度の躰をお願いいたします。おや時を子供さんの為に、一日を反省しながらおとき</p> <p>実行できたら○印 忘れたら×(なるべく御協力下</p>														

日

なまえ(

)

29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

、こんなものを
みじんですから無
みになる前の一
ひと
け下さいませ。
になるよう)
い

父兄の声